

御前山周回ルート

清八新道～御前山

実施日 2010年6月13日(日)

天候 曇り

リーダー 馬場 清士

参加者 若村貴世子、斎恵美子、渡辺清、若村勝昭、馬場清士、石附智江遠井謙策、中村友子、伊藤久雄、石原勝正、柴田政春、鶴崎洋明 計12名

費用 1,940円(立川駅起算)

タイム 奥多摩駅(8:35バス)奥多摩湖(9:00)水久保橋(9:35)清八新道入口(9:50)水窪山(11:10)小河内峠(11:35~12:10)惣岳山(13:10~13:20)御前山(13:35~13:50)惣岳山(14:00)サス沢山(14:55)奥多摩湖(15:55~16:20バス)奥多摩駅(16:40)

梅雨入り寸前の日曜日、奥多摩駅に12名の参加者が揃った。

満員のバスに乗り奥多摩湖バス停で下車、身支度を整え歩き始める。

豊富な水をたたえている小河内ダムの堰堤を対岸に渡り、右に奥多摩湖を見下ろしながら遊歩道に行く。木々の深緑と湖水のブルーが何ともいえず美しい。

水久保橋を渡り程無く行くと、遊歩道と分かれ登山道に入る。急な斜面を登り高度を上げて行くと小広い鞍部に出る。



この尾根上から防火帯を行く、広く刈り込んだ防火帯は歩きやすく、左右の樹林の緑が素晴らしい。次第に勾配がき

つくなり、登りきった所が水窪山だが、山名表示も無く尾根上の高台だ。



右は、月夜見山から三頭山への道が続く。左に進み、小河内峠で奥多摩湖を見下ろしながら昼食とした。

昼食を済ませ暫く行くと惣岳山直下の急登の急登が待っていた。清八新道から此処までハイクーに会わずに来たが、惣岳山頂は奥多摩湖から御前山を目指すハイカーで賑わっていた。



御前山なりでも、惣岳山に大ブ

ナ尾根を下り、奥多摩湖を目指した。

惣岳山からサス沢山まで、標高差約400mの急降下が続く。サス沢山からは、曇り空の中、秩父の山々や奥多摩湖が一望出来素晴らしい眺めだ。

なお奥多摩湖まで、急降下が続き、一口を頼りに慎重に下る。

奥多摩湖が近くなり、頂上広場の案内に従い寄ってみたが、樹木が繁り展望が利かなかつたのは残念であった。

展望広場を経てダムサイドに下り堰堤を渡って、奥多摩湖から御前山への周回ルートを終えた。

幸いに雨にも遭わず、奥多摩湖のブルーと深緑を楽しんだ1日であった。

参加された皆さんお疲れさまでした。(記&写真・馬場 清士)

